

新庁舎建設検討委員会部会職員ワーキンググループ

第1回 建物構造部会

1. 開催日時 平成30年9月4日（火）午後3時00分から
2. 開催場所 富良野市役所2階 議会説明員控室
3. 出席者 4人（2人欠席）
4. 協議内容

本日の検討部会は、第1回目ということもあり当検討部会の検討項目の確認と、概ね考えられる事項を列挙してみたのでご意見をいただきたい。

(1) 防災拠点機能

①耐震構造、免震構造、制震構造等の耐震性能に関する事項

- ・耐震性能については、委託業務のなかで最終的には決定することとなるが、当市の規模、条件等から耐震構造となるのではないか。
- ・防災機器やサーバー機器室等、一部免震床等の採用が必要となるか。

②洪水時の構造的浸水対策に関する事項

- ・ハザードマップでは、庁舎周辺は約50cmの浸水区域であるが、近年の降雨量増加に伴い、それを超える浸水に備える必要はないか。
- ・想定を超える浸水に備え、防水シャッターや防潮板を設置することにより、浸水時も、防災拠点として機能を維持することはできないか。

③非構造部材に関する事項

- ・震災時でも崩落による危険の少ない非構造部材とする。
 - ア天井材～膜天井や無天井等
 - イ内外装材～剥落の危険が少ない、劣化やメンテナンス性に優れる構造・材料
 - ウその他～窓・ガラス、照明器具、設備機器等

(2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能

①官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び公共建築整備のガイドライン及びバリアフリー法に基づくものとする。

②5つの視点

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ア移動空間（外部・内部） | 入口→通路→庁舎玄関→通路→階段・エレベータ 等 |
| イ行為空間 | 執務室、トイレ、照明 等 |
| ウ情報 | 視覚、音声、言語、漢字、ひらがな、記号 等 |
| エ環境 | 光、音、熱、空気、色彩等の身体的環境と心理的影響 |
| オ安全 | 防災計画、避難計画に沿った情報伝達と防犯性の確保 |

(3) 省エネ・省資源機能

①断熱性能

- ・外断熱工法、屋上防水（長寿命化・高耐久・遮熱防水等）、建物緑化 等

②自然エネルギーの活用

- ・自然採光
- ・自然通風換気システム～室内外温度を感知する自動システム
- ・夜間の外気を取り入れるナイトパージ
- ・太陽光発電パネル～富良野小学校での採用実績の検証
- ・地中熱利用～東小学校での採用実績の検証
- ・雪利用（雪冷房システム）～雪室建設維持の課題、システム維持運用コストは？
- ・雨水再利用～非常時トイレ洗浄水等
- ・RDF は？
- ・木質バイオボイラーは？ボイラーのイニシャルコストは？燃料調達は？

(4) 維持管理機能

①100年建築（長寿命化、社会構造・組織構造の変化に対応できる構造）

- ・スケルトンインフィル（オープンフロア、可動式仕切り壁等）
- ・メンテナンス性に優れる内外装の材質や構造、デザイン
- ・内装材の木質化（道産材の活用）

②PPP 活用の可能性

類型Ⅰ 公共施設の料金収入による運営権を設定するコンセッション事業

類型Ⅱ 併設する収益施設の収入により建設・運営する収益型事業

類型Ⅲ 公的不動産利活用事業（公有地・公共施設を民間に貸与）

類型Ⅳ ア サービス購入型 民間事業者が建設・運営する施設に建設費と運営費を支出

イ 包括的民間委託 公共施設の複数の委託業務を包括的に委託

- ・本日は、スケジュールの関係から出席者も少数となり検討項目の確認程度にとどまるが、次回以降は各員それぞれに気付いた意見等、出し合っていければと思います。
- ・次回以降の日程は、市民ワークショップの日程も伺いながら調整をしたい。

以 上。